



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロッテ」

株式会社ロッテ
2022年9月26日（月）

キャンディ

37年ぶりの大リニューアル！初めて国産カリンを使用！

「のど飴」「のど飴（袋）」
「フルーツのど飴」「はちみつカリンのど飴」

2022年9月27日(火)リニューアル

株式会社ロッテは1985年から発売しているロングセラーキャンディ「のど飴」を9月27日（火）にリニューアル。日本の大地で丁寧に育てたカリンを抽出条件や抽出温度にこだわって製造した“国産カリンエキス”をはじめ、世界中からロッテ独自に厳選・ブレンドした13種のハーブエキス等、自然由来の素材のおいしさを1粒にぎゅっと詰め込んだ「のど飴」です。日常でマスクをすることが多くなった昨今、うるおいを与えてくれるロッテ「のど飴」シリーズ。スッキリしたいとき、空気の乾燥が気になるこれからの季節に、ぜひロッテ「のど飴」をご賞味ください。

パッケージ・品質も刷新！より素材の魅力あふれる製品に！



「のど飴」は
カリンエキスとハーブの
フレッシュな味わい



「フルーツのど飴」は
カリンエキスと4種の
果実でフルーティな
味わい



「はちみつカリンのど飴」は
カリンエキスと国産はちみつ
のこく深い味わい

ロッテのど飴ブランドサイト（9/27 0:00にリニューアル）

<https://www.lotte.co.jp/products/brand/nodoame/>

商品名	のど飴（袋）	のど飴 フルーツのど飴 はちみつカリンのど飴
発売日	2022年9月27日(火)	
発売地区	全国	
内容量	102g（個包装込）	11個
価格	オープン価格 （想定小売価格216円前後(税込)）	オープン価格 （想定小売価格118円前後(税込)）

■この件に関するお問い合わせ先

株式会社ロッテ

TEL:0120-302-300(フリーダイヤル)

[>>商品カタログはこちら](#)



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロッテ」



国産カリンって何がいいの？

～日本のカリンの優れた魅力～

味・香り

より素材の香り豊かに



国産カリンは、非常に香りが豊か。商品毎に合わせ、カリンの香気を最適な状態で引き出しました。今まで以上に素材の魅力を感じられる爽やかな味わいに。

鮮度・製法

素材の魅力そのままに



収穫→乾燥→エキス化 まで一連の作業を国内で一貫して加工。カリンのおいしい魅力を損うことなく、エキスとして抽出することができました。

【のど飴】



カリンエキスとハーブのフレッシュな味わい

【フルーツのど飴】



カリンエキスと4種の果実でフルーティな味わい

【はちみつカリンのど飴】



国産
アカシア
はちみつ
※写真はイメージです。

カリンエキスと国産はちみつのコク深い味わい



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロット」



ロッテが「カリン」にこだわる理由

日本が誇る果実「カリン」。そんな国産「カリン」の魅力をロッテは伝え続けていきます。

「カリン」は日本では、約1000年以上前に伝わったとされる文献があるほど、古くから日本と結びつきのある果実として知られていて、人々の生活にも溶け込んでいました。かつては多くの家の庭にカリンの木が植えられ、秋冬の乾燥が気になる季節には、そのカリンをシロップに漬けてむ、という習慣もあり、多くの家庭で愛され続けてきました。

ロッテは、古くから生活に結び付き愛されるカリンの魅力に着目し、1985年からカリンにこだわったのど飴を発売しています。そんなカリンですが「のど飴のパッケージで見たことはあるけれど、どんな果物か見たことがない・・・」と言われるほど、その存在が薄くなってきています。ロッテはそうした状況を憂い、長年の研究を通じて熟知したカリンの魅力を世の中にもっと広く伝えていきたいと考えました。そして、国内の「カリン」農家と協力することによって『カリンの素材そのものの魅力』が存分に伝わる「のど飴」の開発が今回実現しました。



写真左：1000年前に伝えられたという見聞録(香川県まんのう町)
写真右：家の庭に植えられたカリンの木
写真下：1985年発売当時のロッテ「のど飴」



カリン農家と一緒に手を取り合って 「カリン」を伝える活動を行っています！

カリンの魅力を伝える活動にご協力いただいている日本のカリン農家さんからピックアップして紹介します



【香川県 まんのう町 生産者の皆さま】

「カリンの町」と呼ばれるまんのう町は、1000年以上カリンと結びつきがあるといわれています。今も町全体で、カリンを愛し、大切に育て続けています。

◀【奈良県 堀内果実園】

奈良県五條市西吉野町にある1903年に開墾した果実園。

健康な果実は健康な大地からをモットーに、土づくりへの創意工夫等、一つ一つ手間暇をかけて立派なカリンを育てています。

